

# 2017 AUTOBACS SUPER GT Round 5 FUJI GT 300km RACE

2017年8月5日(土)~8月6日(日)

## 決勝 レポート

66 Laps



所:富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563m

天候:曇り / コース:ドライ / 気温:29℃ / 路温:35℃ / 観客動員数:33,500人

### 表彰台届かず

2017年 SUPER GT 第5戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。真夏日ではあるが雲が増えだした15時30分、レースは始まった。

8月6日(日)

<決勝 66LAPS / 15:30~>

スタート直後に富士独特の長いストレートで、最高速の速い後続車にパスされないで周回出来るかが勝敗のカギである。予選は単独でラップ出来るので、コーナースピードでタイムを稼ぐ事が出来るが、決勝レースではそうはいかない。パレードラップそして1周のフォーメーションラップ後300キロレースのスタートはきられた。スタートを受け持った山内英輝はポジション



www.rdsport.net

を守るどころか果敢にアタックを繰り返し、4位でコントロールラインに戻ってくる。その後、5位にポジションを下げるが素晴らしい走りで行先する4台に食らい付いていく。30周目にピットインし井口卓人に代わる。井口は実質4位から前車プリウスを猛追するが、3秒まで縮めた差を後半なかなか縮める事が出来ず、結果4位でレースを終えた。なお、GT500クラスの優勝は#8 ARTA NSX-GT が、GT300クラスは#55 ARTA BMW M6 GT3が制した。



#### ■本島監督 コメント



この2日間ドライバーもメカニックも素晴らしい仕事をしてくださいましたが、今一步表彰台に届かず残念です。次回鈴鹿では SUBARU ファンの方々にトップを走る BRZ を見てもらえる様頑張ります。

#### ■井口 卓人 コメント



予選、決勝と素晴らしいパフォーマンスを出す事が出来たレースでした。レースではリヤタイヤ2本を交換する作戦を取りましたが、ピットアウトした段階からいかにペースを上げられるかを重視し、温まりのよいユーズドタイヤを選択しました。序盤は前後バランスが難しく苦労しましたが、その後はラップタイムをキープできたと思います。前を行く31号車がタイヤ無交換作戦というのは分かっていたので、レース終盤が勝負になると読んでいたのですが、もう一步追い詰める事ができませんでした。次の鈴鹿は結果を残している得意なサーキットですし、今回は力強いレースができたので、1000kmにも前向きな状態で挑むことができると思います。

#### ■山内 英輝 コメント



僕の中で、序盤 FIA- GT3 車輛からポジションを守り切れたことが大きかったです。チームもドライバーもミスなく戦えたので、しっかりこの富士でポイントを取れたことはよかったですと思います。リヤタイヤ2本交換作戦のためにフロントタイヤを労わりながら、マージンも保って井口選手に渡すことができました。次戦の鈴鹿サーキットは、1000キロと長いレースですが、毎周予選のように走らないと勝てないレースです。しっかりと準備をして、心身ともに充実した状態で臨みたいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、  
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2017/sgt/report/>もご覧ください

2017年8月6日  
SUBARU BRZ  
アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net